

財團 協調會 福岡出張所

- 16、正副旗手任命 (支部長 白木清三)
- 旗手 長田鹿太郎
- 副旗手 濱崎春政
- 17、閉會の辭 清末道夫

財團 協調會 福岡出張所

宣 言

資本主義の不合理と破綻は既に露骨に日本の全面へ暴露された資本家階級の必要の対策も悉く水泡に歸し。その失敗の犠牲は賃銀低下労働時間の延長。労働の專制的強化資本家本位の産業合理化に依つて獨り労働階級の上にも痛々しく背負はされて居る。インフレ景氣で莫大な収益を上げたのは資本家のみにして軍需産業部門の労働階級と雖も實質賃銀は只一途に低下の一路を辿らされて居るのみである。軍需産業以外の労働階級の生活窮迫は言語に絶する悲惨なる状態に押込められて居る。

この労働階級の生活危機を資本家階級並にそれと一連の支配権力群は國際非常時の名を以て労働階級の愛國的熱情とスリ替へて居る。